

委員会活動計画書

委員長名 岩本 里織

【委員会名】 教育課程委員会	
【メンバー】 伊木智子(関西看護医療大学)、◎岩本里織(神戸市看護大学)、入野了士(愛媛県立医療技術大学)、○大木 幸子(杏林大学)、¥草野恵美子(大阪医科薬科大学)、滝澤寛子(京都看護大学)、長谷川美香(福井大学)、松原 三智子(北海道科学大学)、山田 小織(福岡女学院看護大学) オブザーバー鈴木 美和(三育学院大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名	
【活動方針】 1. 公衆衛生看護技術の体系化に向けて検討を行う	
2022(令和4)年度	
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生看護技術の体系化に向けて、親子保健活動および高齢者保健活動における公衆衛生看護技術を基盤に、会員校の協力などを得ながら、活動分野によらない共通する公衆衛生看護技術について抽出し、妥当性を検証する。 2. 作成した公衆衛生看護技術および、2019年度、2021年度に作成した親子保健活動および高齢者保健活動における公衆衛生看護技術について、報告書を作成し、周知する。
活動計画	<p>【目標1について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 親子保健活動における公衆衛生看護技術をもとに作成した「公衆衛生看護技術の構造図」を基盤に、委員会メンバーで活動領域によらない公衆衛生看護技術(案)について抽出し、下記の方法で内容を洗練、妥当性を検証する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 各ブロック研修会の機会の活用を依頼し、公衆衛生看護技術(案)について、検討していただく。 2) 全保協の夏季研修において、公衆衛生看護技術(案)の検討にかんするワークショップを開催し、検討する。 3) 1)2)の結果、洗練した公衆集衛生看護技術(案)について、会員校調査を行い、内容の妥当性を検討する。 2. 2021年度に作成した「高齢者保健活動における公衆衛生看護技術」、2022年度に作成した公衆衛生看護技術」と共に報告書を作成し、会員校へ送付、普及する。